

## ローカルコンテンツ流通・連携プラットフォーム共同研究の成果報告 ～地域コンテンツを高度利活用するための技術検証実験～

九州情報通信連携推進協議会(会長：尾家祐二 九州工業大学情報工学部長・教授)とNPO法人NetComさが(理事長：福田伸裕)は、地域内での活用に留まっている情報コンテンツ、いわゆる『埋もれたローカルコンテンツ』を流通媒体や配信方法の多様化によって高度利活用するための技術検証実験を情報通信企業などの協力を得て実施した。

技術検証実験は、佐賀シティビジョン株式会社(以下「SCV」という。社長：古賀久登)が保有する映像などの地域コンテンツを株式会社KDDI研究所(以下「KDDI研究所」という。所長：秋葉重幸)の通信基盤技術により効率的に収集し、コンテンツ利用者のTPO(時間, 場所, 場合)にあわせて携帯電話に配信しようとするもの。

今回は『佐賀市中心地の町歩き』を想定し、佐賀県庁から半径1km内にある観光・飲食店情報をSCV制作番組から抽出しKDDI研究所のローカルコンテンツ流通・連携プラットフォームに集約。さらに、位置と時間に適合したコンテンツを携帯電話に表示した。町に点在する観光・飲食店情報は携帯電話利用者の移動に伴って携帯画面に次々に自動表示され、利用者は観光スポットなどを選択すると詳細な解説文や映像を見ることができる。

将来的には、行政情報や地域SNSなどに分散しているローカルコンテンツを自動的に収集して、携帯電話、パソコン、データ放送などの多様なメディアに一括配信することにより『埋もれたローカルコンテンツ』の高度利活用が可能になる。また、利用者特性に従ったコンテンツ提供が可能なることから観光、防災、医療、教育などの様々な分野での応用も考えられ、コンテンツ流通促進分野における新たなビジネス創出による地域社会の活性化が期待される。

なお、本実験の次フェーズへの展開については、本技術検証実験の結果に基づき、別途検討を進める予定である。

以上

九州情報通信連携推進協議会(KIAI) <http://www.kiai.gr.jp/>

NPO法人NetComさが <http://www.netcom.gr.jp/>

株式会社KDDI研究所 <http://www.kddilabs.jp/>

佐賀シティビジョン株式会社 <http://www.bunbun.co.jp/>

### 【お問い合わせ】

#### □全体について

NPO法人NetComさが 事務局 西村

Tel : 0952-28-7588 Fax : 0952-28-7590

e-mail : nishimura@po.digicom.co.jp

#### □利用技術について

株式会社KDDI研究所 営業企画グループ

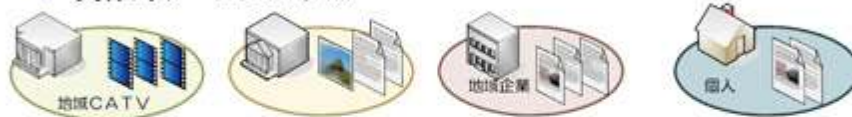
Tel : 049-278-7450 Fax : 049-278-7317

e-mail : inquiry@kddilabs.jp

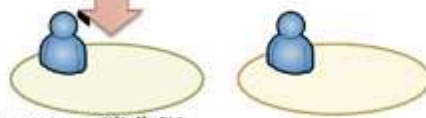
## 解決しようとする課題

### ▶ コンテンツ提供側

- ▶ 地域に埋もれた膨大なローカルコンテンツの高度利活用
  - ▶ 必要な技術（プラットフォーム基盤技術、アプリケーション）
  - ▶ 具体的サービスモデル

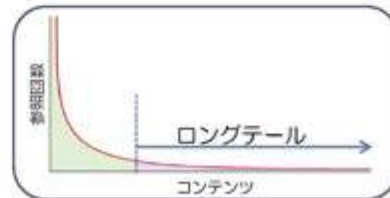


必要としている人に必要なコンテンツをどのようにして届けるか



### ▶ コンテンツ消費側

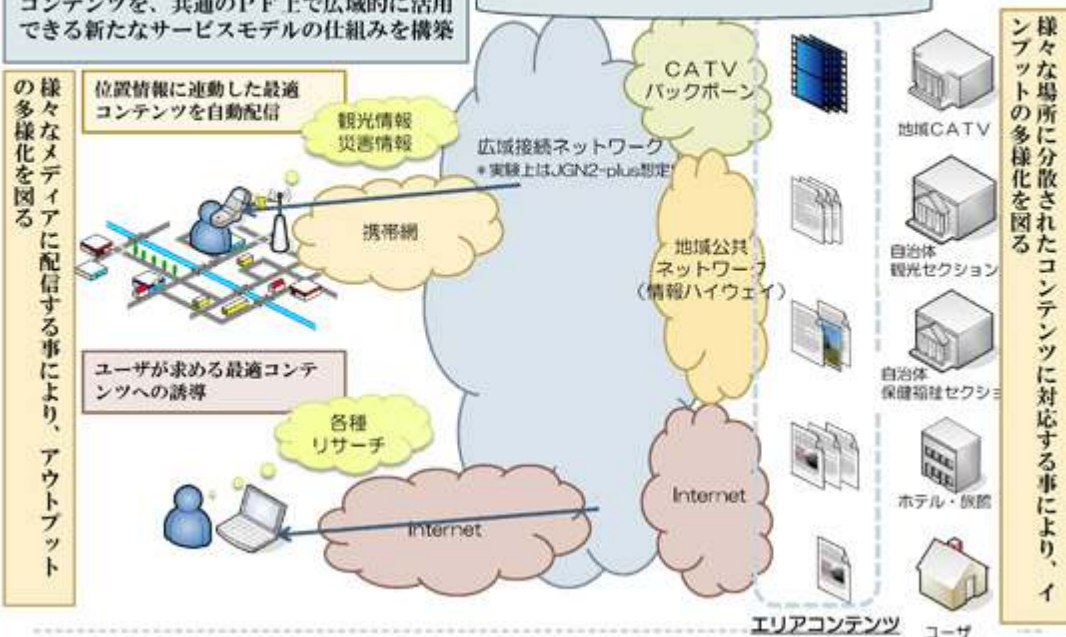
- ▶ 趣味趣向の細分化
- ▶ TPOに応じた最適なコンテンツ収集
  - ▶ ロングテールコンテンツに対する効率的・効果的な配信・検索ニーズ



## 調査実施内容全体イメージ

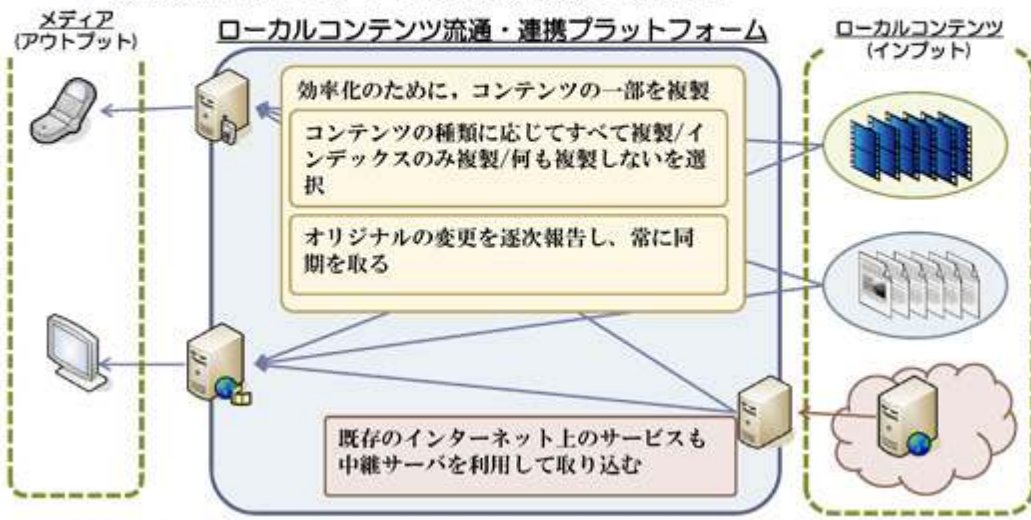
従来、個々のサービスでのみ活用されていたコンテンツを、共通のPF上で広域的に活用できる新たなサービスモデルの仕組みを構築

### ローカルコンテンツ流通・連携プラットフォーム



## プラットフォーム概要

- ▶ 課題：ネットワーク・サーバ負荷を軽減したプラットフォームの構築
  - ▶ 参照する人が少なく、キャッシュ等の制御が行いにくい
  - ▶ 最適な瞬間にコンテンツを配信する為の高速応答



## 実証実験用プラットフォーム概要

- ▶ すべてのコンテンツを「位置」と「日時」で管理
  - ▶ 「テキスト」ベースの検索 から 「実世界」ベースの検索 へ
    - ▶ 近くで開いている喫茶店はどこだろう？
    - ▶ 今週の日曜にどこかで面白いイベントはやってないかな？
- ▶ 地域情報（ローカルコンテンツ）を組み合わせた新たなサービスの提供

